

「 無 題 」

匿名希望

私がまず、憲法と聞いて、浮かんできたのは、授業で習った「前文」「第九条」「第九十九条」です。これらは、憲法の中でも有名で、学校生活でもよく出てきます。しかし憲法というと「難しい」イメージがありました。今度このテーマを頂いて、実際に調べることにしました。特に、憲法と政治、さらに、憲法と私たちの生活について、考えました。

まず、実生活では、百年に一度の大不況に見舞われる中で、テレビや新聞では、「派遣切り」や「ワーキング・プア」「就職難」「内定取り消し」などのニュースが目につきます。学校にくる求人票も、昨年の半分程度と深刻になっています。そんな中で、毎年自殺者は、三万人を超え、生活が破壊された層が増え続けています。それに対して、政府の対応は、「職業訓練」「その人にあった仕事の斡旋」「法律の改正」などですが、その効果は、余り上がっていません。米国の経済破綻から始まった不況とはいわれていますが、これまでずっと続いてきた、政治の体質にも、その原因があったと思います。それは、憲法を精神を忘れ、大企業や財界などの要求を優先し、働いてくれている国民一人一人の権利を守る責任を忘れていたからではないでしょうか。国民の利益よりも、自分たちの利益を重視した政策を取ってきたからではないでしょうか。そのため、貧富の差が広がり、今のような姿になったのではないのでしょうか。経済的に、生活が苦しい人が絶望し、犯罪を起こしたりして、偏見を再生産し、差別へとつながる悪循環が起きているのではないのでしょうか。

給食費や授業料が払えず、不登校になったり、小・中学校の卒業証書が貰えないというニュースもあります。憲法では、第二十五条の「生存権、国の社会的使命」で「すべての国民は健康で文化的な最低限の生活を営む権利を有する」と保障しています。第二十六条の「教育を受ける権利」では、「すべて国民は法律の定めるところによりその能力に応じて等しく教育を受ける権利を有する。すべて国民は、法律の定めるところによりその保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負ふ。義務教育はこれを無償とする」と保障しています。国の最高法規である日本の憲法は、何のためにあるのでしょうか。現実の日本は、本当に民主主義社会であり、民主主義国家なのでしょうか。

私は、実生活と憲法の条文の比較を行ったことで、憲法が身近な存在になりました。私は来年、大学生になります。選挙権がもらえる年齢が近づいています。自分自身、これからもっと、憲法や政治について、関心を持ち続けていきたいと思います。私は幼稚園の子ども達と接する機会が多いので、憲法を心の中心に据えて、実践し、伝えていきたいと考えています。ただ、自分が理解す

るだけではなく、自分が次世代へ伝えていくこと、これが、私がしていきたい
と思っていることです。